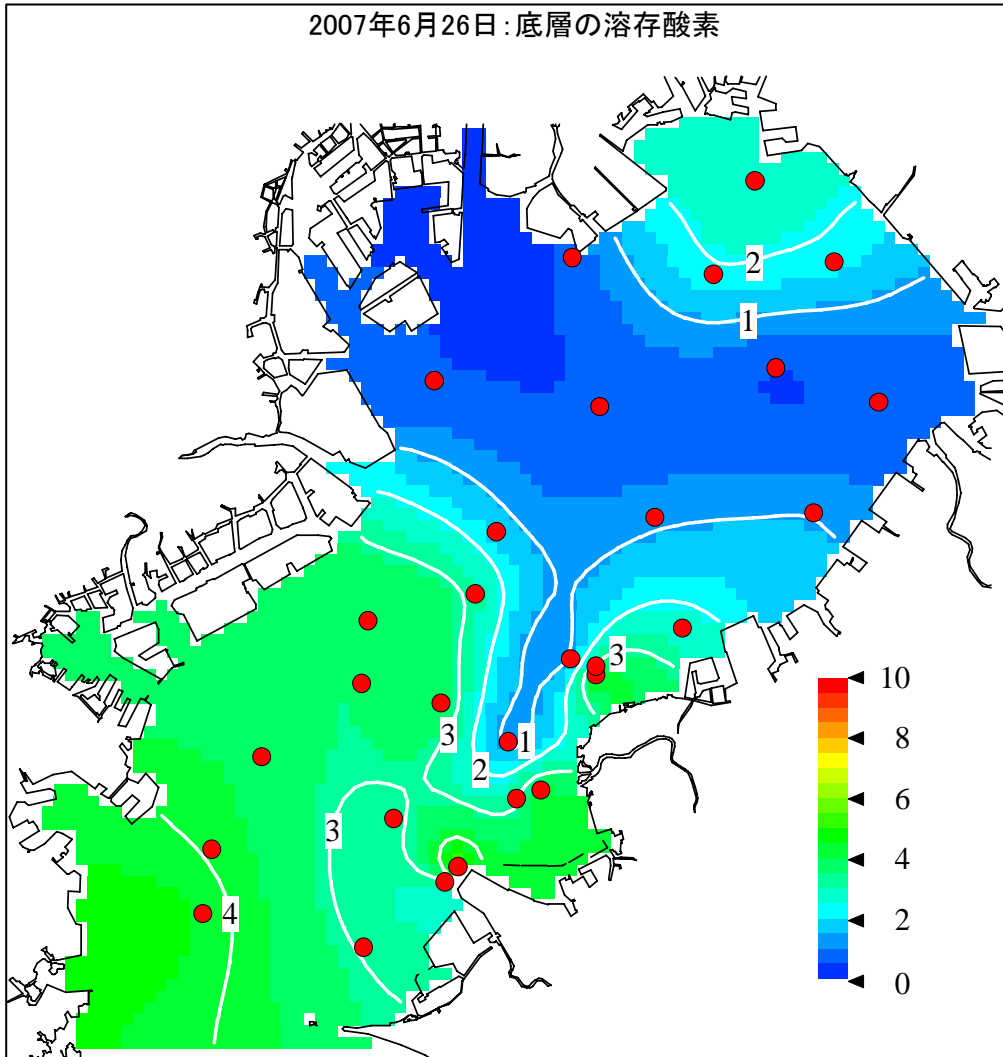


貧酸素水塊速報 (2007年)

- 千葉県水産総合研究センター(編集)
- 神奈川県水産技術センター
- 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)
- 協力:海上保安庁海洋情報部
- 協力:千葉県環境研究センター
- 協力:東京都環境局
- 協力:第三管区海上保安本部
- 協力:国立環境研究所

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。
 底層の貧酸素水塊は引き続き内湾北部に分布していました。また、千葉寄りでは貧酸素水が南下していました。
 水温は表層22~24℃、底層14~22℃であり、神奈川寄りの底層に低温高塩分な水塊が差し込んでいました。
 中ノ瀬から川崎人工島の海域は赤潮状態でした。特に、中ノ瀬Dブイから川崎シーバースにかけては海面が朱色を呈しており、夜光虫によると思われる赤潮が見られました。



底層の溶存酸素量分布(ml/L:速報値)
 平成19年6月26日観測分

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
10%	1.0ml/L	
	0.5ml/L	